

令和6年度 3年 国語科 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

学年末の到達目標「国語を適切に理解し、自分の考えを状況に応じて効果的に表現する能力を身に付ける。」
 『知識・技能』 小学校・中学校で学習した漢字の読み書きができ、教科書の新出漢字を読むことができる。
 『思考・判断・表現』 文章に即して考え、筆者の意見を捉え、自分の考えを深めることができる。
 『主体的に学習に取り組む態度』 国語に親しむ。様々な文章を読もうとし、積極的に発言することができる。

2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	ワークシート 小テスト 定期考査	聞くテスト、スピーチ発表 グループでの発表、課題作文 ワークシート、小テスト、 定期考査	ワークシート 発表 提出物

3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準（おおむね満足できる B）
4	世界はうつくしいと	1	・言葉、文字の使い方・リズム・表現技法などに着目し、詩を読み深める。			◎	・詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。
	握手	4	・「ルロイ修道士」の葬式で、「わたし」が「知らぬ間に、両手の人さし指を交差させ、せわしく打ちつけていた」ことの意味を考える。		◎	○	・文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。
	評価しながら聞く	1	・「ペットを飼うことを人にすすめるか」について自分の考えをもつ。		◎	○	・自分の意見と根拠を明確にし、相手の立場から予想される反論についても考えている。
5	学びて時に之を習ふ「論語」から	2	「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。		◎	○	・孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連付けて考えている。
	情報整理のレッスン 情報の信頼性	1	・情報は編集されているため、情報の信頼性を確かめる必要があることを知る。		◎	○	・情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。
	文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する	4	・修学旅行で心に残った出来事などを、図表や写真の配置などを工夫し、わかりやすい紙面構成を考え、修学旅行記を作成する。		◎	○	・修学旅行で心に残った出来事から題材を選び、その題材に関する情報や図表、写真を集め、出典を明らかにして記事の中で活用している。

6	漢字 1 熟語の読み方 漢字に親しもう 1	1	・教材文を読み、さまざまな熟語の読み方について理解する。	◎	○	・漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。	
	作られた「物語」 を超えて	3	・筆者の主張と論理の展開を捉える。	◎	○	・論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。	
	思考のレッスン 具体化・抽象化	1	・具体と抽象の関係で捉えられるものや、具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたについて理解する。	◎	○	・具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。	
	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける	4	・スピーチの目的と、スピーチをする相手や場を確認し、信頼性の高い情報を集める。	◎	○	・話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。	
	漢字に親しもう 2	1	・新出漢字を確認する。	◎	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。	
7	文法への扉 1 すいかは幾つ必要？	1	・文節、連文節の係り受けなど、既習の文法について理解を深め、文法の知識を表現や読解に生かすポイントを確認する。	◎	○	・既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。	
	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	3	・大人用と子供用のパンフレットを読み比べ、共通点と相違点を書き出す。	◎	○	・読み手に必要な情報を過不足なく伝えているか、読み手の状況に合わせた言葉や表現を使っているか、不親切で誤解を招く表現になっていないかなどの点に着目して文章を読み、課題に取り組んでいる。	
	俳句の可能性 俳句を味わう 俳句を作って楽しもう	3	・名人の作句法などを基に、俳句を作る。	○	◎	○	・俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。
	言葉を選ぼう もっと「伝わる」 表現を目ざして	1	・教材文を読み、「時代による言葉の変化」と「世代による言葉の変化」があることを知る。	◎	○	・古典や近代文学、年配の人との会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見付けている。	
言葉 1 和語・漢語・外来語	1	・和語、漢語、外来語、混種語について理解する。	◎	○	・和語、漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。		

9	読書を楽しむ	1	・さまざまな読書の楽しみ方について知る。	◎	○	・さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。
	「私の一冊」を探しにいこう	1	・インターネットを活用するなど、探し方を工夫して、見つけた本を夏休みに読み、書評やポップを書く。	◎	○	・登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。
	挨拶 原爆の写真によせて	2	・作者は、この詩の中で、どのようなことを考え、伝えようとしたのか、現代社会の状況と重ね合わせながら、自分の意見を述べる。	◎	○	・現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。
	故郷	5	・「私」が抱く「希望」や、望む社会とはどのようなものか、「私」と「ルントウ」、「ホンル」と「シュイション」の関係などを踏まえて捉える。	◎	○	・「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。
	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1	・話し手から話題を聞き、中心となる質問を考えたり、話の流れを予想したりする。	◎	○	・自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。
	[推敲]論理の展開を整える	1	・「事実と意見」、「意見と根拠」、「具体と抽象」について、既習事項を振り返りながら課題に取り組む。	◎	○	・「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。
	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	1	・慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。	◎	○	・慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。
	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう 3	1	・教材文を読み、「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。	◎	○	・漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。
10	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性	3	・筆者の考えに納得できたこと、できなかったことを手がかりに、「これからの時代に大切なこと」を考え、グループで討論する。	◎	○	・相手との共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。

	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	4	・対象とする事柄の特性や価値などについて、観点を決めて客観的に分析し、自分の考えを書く。	◎	○	・自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。
	漢字に親しもう 4	1	・新出漢字を確認する。	◎	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。
	[議論]話し合いを効果的に進める	1	・それぞれの意見の共通点と相違点を聞き取り、話の論点を整理する。	◎	○	・全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。
11	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4	・ブレインストーミングでアイデアを出し合い、グループごとに提案を絞り込む。	◎	○	・提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。
	音読を楽しもう 初恋	1	・互いの意見のよいところを生かして合意形成に導く。	◎	○	・文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。
	和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	1	・語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。	○	◎	・「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。
	万葉・古今・新古今	2	・古今和歌集「仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。	◎	○	・三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。
12	夏草	4	・芭蕉の「旅」に対する思いが読み取れる部分を抜き出し、現代の「旅」がもつ意味と比べる。	◎	○	・芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。
	誰かの代わりに	3	・抽象的な概念を表す語句の文脈上での意味に注意しながら、社会や人間に対する筆者の考えについて、自分の考えをまとめる。	◎	○	・文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。
	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く	2	・着眼点を決めてグラフなどの資料を読み取り、それに対して自問自答して、自分の考えをまとめる。	◎	○	・具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。

	漢字3 漢字の まとめ 漢字に親しもう 5	1	・三年生で学習した漢字を 復習する。	◎	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣 れている。
	文法への扉 「ない」の違い がわからない？	1	・「ない」という語が意味や 用法によって、形容詞、形 容詞の一部、助動詞に分類 されることを知る。	◎	○	・「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中 で理解している。
	本は世界への扉	1	・写真や注などを参考にし たり、新聞やニュースなど で紛争地の情報を調べたり して、困難な状況でたくま しく生きる人々や世界で活 動する人々について考えさ せる。	◎	○	・二つのノンフィクションを読み、読書によって、さま ざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について 知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気 付いたりする。
1	温かいスープ	3	・筆者の考える「国際性」 とは何かを読み取る。	◎	○	・自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、 「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。
	わたしを束ねな いで	2	・作者の思いを読み取り、 自分の可能性について考え る。	◎	○	・詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会 状況や人間の生き方について考えている。
2	三年間の歩みを 振り返ろう	6	・三年間の学びを冊子にま とめ、「これから」の学びに ついて発表する。	◎	○	・相手や場を意識しながら適切な言自分の考えや思いが わかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作 っている。
	漢字に親しもう 6	1	・三年間の漢字の総まとめ として、言葉の意味を辞書 で確認しながら漢字を読ん だり書いたりする。	◎	○	・音訓や部首などに気を付けて、これまでに学習した漢 字を読んだり書いたりしている。
	学習を振り返ろ う	4	・表現を基に、登場人物の 心情を考えたり、根拠を基 に、自分の考えを書いたり して問題を解く。	◎	○	・文章に表れているものの見方、考え方と自分の考えを 比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。